



ShineNeT Internet Service

インターネット接続ガイド

Windows98 編



第1版 1998年8月20日 発行

第3版 1999年11月10日 発行

Shine On
Scalable, hi-quality network On ...

有限会社 シャイン・オン



Windows98 は、インターネットに接続する為に必要なソフトウェアを標準で全てを装備しています。また、標準的なインストール状態で、それらのソフトウェアがインストールされています。

また、Windows98 は、『インターネット接続ウィザード』を使用することで、簡単に設定を行なうことができます。

準備

お送りしました、『**ShineNeT Internet Service** 設定書』を用意して、Dialup ID 及び、Dialup Password をご確認下さい。

また、モデム又は TA に付属していたフロッピーディスク又は CD-ROM を準備します。

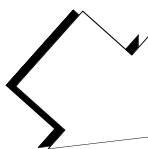
① 『インターネット接続ウィザード』を起動します。



Windows98 をインストールした状態では、デスクトップに『インターネット接続ウィザード』のアイコンがありますので、そのアイコンをダブルクリックします。



アイコンがない場合は、Windows98のスタートメニューから[プログラム] [Internet Explorer] [インターネット接続ウィザード]を選択します。



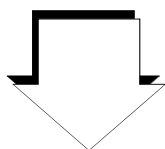


接続方法の選択を行います。



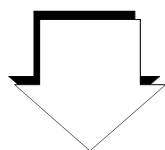
『電話回線又は、LAN経由でのインターネットサービスが既にある。このインターネットサービスへ接続できるようにインターネットソフトウェアを設定する。』を選択します。

【次へ】をクリックします。



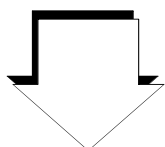
『インターネットサービスプロバイダやLANを利用してインターネットアクセスしている場合は、このオプションを選択してください。』を選択します。

【次へ】をクリックします。




『電話回線を使って接続する。』を選択します。

【次へ】をクリックします。





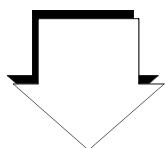
3 モデム又はTAの設定を行います。

モデム組み込み済みのパソコンや、今までにインターネットに接続していた場合など、モデム又はTAが既に設定されている場合は、この画面は表示されませんので  に進みます。



モデム又はTAを自動検出しますので、モデム又はTAを接続し、モデム又はTAの電源をオンにしたことを確認します。

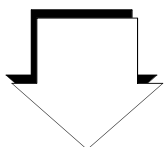
【次へ】をクリックします。



接続してある、モデム又はTAが検出されたことを確認します。

【次へ】をクリックします。

もしもここで、正常に検出されない場合や、『標準のモデム』と検出された場合は、【変更】をクリックしてからディスクを利用して設定します。(「モデム又はTAの手動設定」を参照して下さい。)



【完了】をクリックします。

モデム又はTAの手動設定

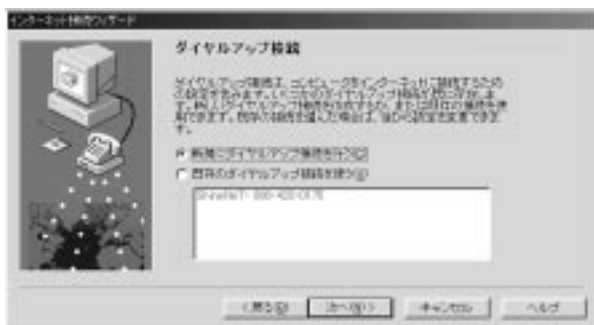


モデム又はTAが自動検出で正常に設定できない場合は、手動で設定します。

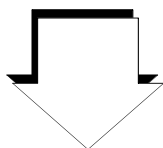
【左の画面でディスクを使用】をクリックして、設定ファイルが入っている、フロッピーディスク又はCD-ROMを指定します。後は画面の指示に従って下さい。

正常に設定が終了すると、自動設定時の終了と同じ画面が表示されます。

4 接続先の設定を行います。



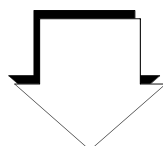
【新規にダイヤルアップ接続をおこなう】を選択して【次へ】をクリックします。



ShineNeTのアクセスポイントの電話番号を入力します。

電話番号に、各アクセスポイントの電話番号を入力します。

【次へ】をクリックします。



ダイヤルアップのIDとパスワードを入力します。

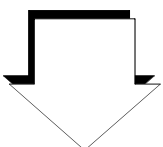
お送りした『ShineNeT Internet Service 設定書』に記入してある、Dialup IDとDialup Passwodを入力します。

【ユーザー名】に Dialup IDの内容
【パスワード】に Dialup Passwodの内容

を入力します。

【次へ】をクリックします。

【パスワード】で入力した文字は、*****と表示されます。





【いいえ】を選択します。

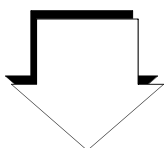
【次へ】をクリックします。

接続先の設定を行います。



接続先の名前を入力します。
変更しなくても結構ですが、複数の接続先を登録する場合は、判りやすい名前を入力することで区別できます。
ここでは、ShineNet と入力します。

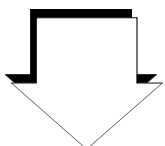
【次へ】をクリックします。



メールソフトにアウトルックエクスプレスを利用する場合はここで設定しますが、メールの設定は Internet Explorer の設定説明書で説明します。
ネットスケープコミュニケーターを利用する場合もここでは設定しません。

【いいえ】を選択します。

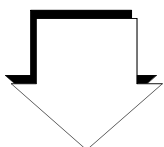
【次へ】をクリックします。



インターネットニュースソフトにアウトルックエクスプレスを利用する場合はここで設定しますが、インターネットニュースの設定は、Internet Explorer の設定説明書で説明します。
ネットスケープコミュニケーターを利用する場合もここでは設定しません。

【いいえ】を選択します。

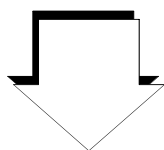
【次へ】をクリックします。





インターネットディレクトリサービスは通常利用しませんので、【いいえ】を選択します。

【次へ】をクリックします。

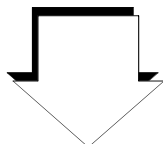
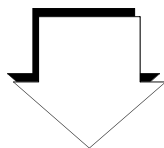


以上で設定は全て終了です。

【完了】をクリックします。

インターネットへの接続方法及び切断方法。

接続方法及



Internet Explorer 又は、Netscape Communicator 等のブラウザソフトを起動すると、左の様な接続画面が表示されます。

【接続】をクリックします。

モデム又はTA が（先程設定した）**ShineNet** のアクセスポイントにダイヤルします。

接続に成功するとこのウィンドウが閉じて、画面の右下にコンピュータのアイコンが表示されます。

接続に失敗成功するとエラーが表示され、エラーの理由が表示されます。

モデムを使用しての接続で、何度接続しても『話し中』または、『相手のコンピュータが応答しない』と表示されて接続できない場合は、ダイヤル方法の設定が違っている可能性があります。

10ページからの説明を見て、ダイヤル方法を変更してみてください。

切断方法



右図のアイコンが表示されている間は、電話が接続されていますので、電話料金が課金されています。

接続を切断するには、Internet Explorerの場合とそれ意外の場合で方法が違います。

Internet Explorer の場合



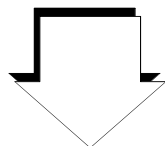
Internet Explorer を終了します。

右図の『切断』ウィンドウが表示されますので、【はい】をクリックします。

Netscape Communicator の場合



Netscape Communicator は終了しても、『切断』ウィンドウは表示されません。



画面の右下のコンピュータ画面のアイコンをダブルクリックします。すると、『接続』ウィンドウが開きますので、【切断】をクリックします。



続いて、Internet Explorer または、Netscape Communicator の設定を行なってから、インターネットをお楽しみください。

Appendex

モデムの場合のダイヤル方法の切替について

電話回線からモデムを使用して接続する場合、何度接続しても『話し中』または、『相手のコンピュータが応答しない』と表示されて接続できない場合があります。

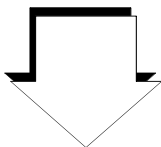
この場合、ダイヤル方法を確認してみてください。

トーンは、いわゆる【プッシュホン】のことで、NTTとプッシュホン回線の契約を行っている場合です。
パルスは、通常の電話回線です。

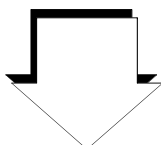
電話機が、プッシュホンであっても、NTTとプッシュホン回線の契約を行っていない場合は、【パルス】です。



8ページの接続の画面で、【設定】をクリックします。



【ダイヤルアップのプロパティ】をクリックします。





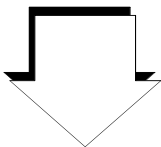
プッシュホン回線でない場合は、
ダイヤル方法の【パルス】を選択します。

【OK】をクリックします。



プッシュホン回線の場合は、
ダイヤル方法の【トーン】を選択します。

【OK】をクリックします。



【OK】をクリックして、接続画面に戻ってから、もう一度接
続を行います。

インターネット接続ガイド
Windows98 編

1999年11月10日 発行

許可なく複製、転載を禁ずる。

Shine On
Scalable, hi-quality network On ...

有限会社 シャイン・オン